

クラス番号	634	担当教員名	菊池遼
テーマ	市民社会（NPO）と社会福祉が目指すところ		
著書・論文 研究課題等	「第11章専門家集団が牽引する地域デザイン・イノベーション」（共著）『地域イノベーションⅢ：震災からの復興・東北からの底力』 「被災地のフェーズ変化に対応した遠隔地からの中長期的支援：山形から石巻への支援を行う大学生の団体「START Tohoku」を事例として」（共著） 『東日本大震災後設立のNPOにおける活動実態と今後の展望 調査報告書』（共著） 『非営利組織の持続可能性-東日本大震災の事例から-』（単著）（博士学位論文）		

## ゼミナール概要

キーワード：市民社会論、非営利組織論、社会福祉論、社会科学、災害

目的、内容、方法等：

ソーシャルワークの基盤は「人権」と「社会正義」です。これまでに受講した授業でもそのような基礎の概念を教えてくれた先生は多かったのではないのでしょうか。ただ、この「人権」と「社会正義」の実現のためには、哲学、法学、政治学、経済学、社会学、心理学など、社会科学分野の学術的知見を総動員しないと全容を掴むことは困難です。どうして福祉を学びにきたのに他の学問分野を学ばなければならないのかと疑問に思う人も多いかもかもしれません。しかしながら、そういった狭い見方で社会福祉を規定するのではなく、幅広い視点で社会福祉を捉えていくことで、ゼミ生各々が目指すべき社会福祉像を作り上げていくのが本ゼミの目的です。

社会福祉を捉えていく上でも教員が専門分野としているのはNPOを中心とする市民社会論です。NPOから市民社会、さらに社会福祉まで展望したい人は大歓迎です。教員はその他の社会科学分野については門外漢ですが、一定の知識は備えています。意欲的に哲学、法学、政治学、経済学、社会学、心理学から社会福祉を捉えてみたい人もまた大歓迎です。そういった方はぜひ一緒に学んでいきましょう。

また実際の現場を見ないことには理論のイメージが掴めません。同時に現場の事ばかり知っていても理論の話が分からないと最終的な目的を見失ってしまいます。常に社会福祉の理論と現場を行き来することで、確固たる社会福祉像をつくり上げていってください。

最後に、災害に興味のある方もまた大歓迎です。災害があると「人権」や「社会正義」に揺らぎをもたらすような事態に遭遇します。災害の現場から社会福祉の問題はより一層強く意識されるものになります。やる気のある人は折りを見て実際の災害現場を案内することも可能です！

授業計画：

- 3年前期 現場視察、教員による理論・概念の整理、テーマごとに分かれてグループ研究
- 3年後期 前期の内容を踏まえてフィールドワークを実施、理論の・概念の整理
- 4年前期 卒業論文の構想とフィールド調査の計画立案
- 4年後期 卒業論文の執筆とゼミ報告書の作成

## 担当教員からのメッセージ



あまりティーチングは得意ではありません。基本的にはコーチングです。怒ることも嫌いなので、何をやってもいったんは受容します。ただ人間はいつかやらなきゃいけない時がくるし、いつかは本気出さないとイケません。NPOだってそうです。誰かがやってくれるからいいやではなく、自分がやらないとイケない時がくる。そんな感じで一部の人が頑張ってくれるおかげで社会は回っています。この社会がなんとなくだけ回っていること自体が不思議なのです。そんな社会の仕組みを社会福祉とか市民社会の視点で捉えていきましょう。